

直轄災害復旧事業「河北潟干拓地区」復旧工事の実施状況



○直轄災害復旧事業「河北潟干拓地区」の概要

令和6年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震により、旧暦事業の国営干拓事業「河北潟干拓地区」において整備した揚水機場等の取水工（水管橋等）や付帯する配管類等が破損し、安定的な取水が損なわれる被災が確認されたことから、直轄災害復旧事業により干拓地区内の4揚水機場の整備を実施しています。事業工期は令和6～7年度。

改修概要及び対象施設

- 水管橋の改修(1機場)
 - ・南部揚水機場
- 機場内整備(4機場)
 - ・南部揚水機場
 - ・西部揚水機場
 - ・東部第1揚水機場
 - ・東部第2揚水機場

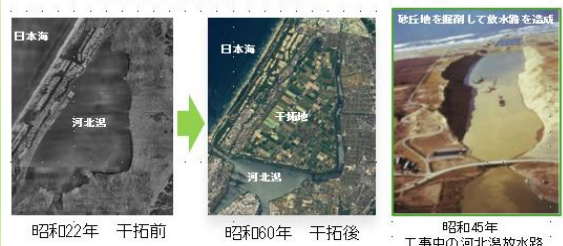
○能登半島地震の被害

国営干拓事業「河北潟干拓地区」の受益地である石川県金沢市他1市2町では、最大震度5強を観測し、国営干拓事業「河北潟干拓地区」において整備した南部揚水機場では、地震動などにより取水工（水管橋等）が傾斜し、周辺の地盤沈下に伴い配管類等が破損しました。また、西部、東部第1及び東部第2揚水機場では、周辺の地盤沈下に伴い配管等が破損し、両施設は安定的な取水が損なわれる被災が確認されました。

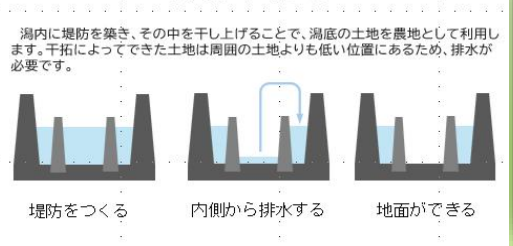
○河北潟干拓の概要

河北潟開発の歴史は古く、江戸時代から約300年の間に小規模な埋立てが何度も繰り返されてきました。昭和38年度～昭和60年度には、戦後の食糧不足を受けて国営河北潟干拓事業が開始され、河北潟の約3分の2の面積、1,356haの干拓地を誕生させ、併せて沿岸既耕地(3,275ha)の排水改良を実施しました。

【河北潟干拓事業(昭和38～60年)】



【干拓の仕組み】



施設被害位置図

施設被害位置図

補給用取水配管全損

アスファルト舗装沈下

可とう管部沈下(堤防側)

張ンコンクリート破損

アスファルト舗装沈下

水管橋破損、傾斜(谷口側)

西部揚水機場

南部揚水機場

東部第1揚水機場

東部第2揚水機場

取水工

津樋排水機場

機場周辺の沈下状況

かほく市

津町

凡例

- 受益農地(緑)
- 取水機場(改修)
- 市町村界

直轄災害復旧事業「河北潟干拓地区」 復旧工事の実施状況

○ 東部第1、東部第2、西部、南部揚水機場（機場施設内）（令和7年度 復旧完了）

東部第1揚水機場



被災状況



復旧完了

西部揚水機場



被災状況



復旧完了



東部第1排水機場 復旧工事完了 全景

○ 南部揚水機場（新設水管橋 通水開始 令和8年2月20日から） 令和8年5月末 復旧工事 完了予定

被災状況



水管橋 橋脚の傾斜



堤防部 橋台周辺の沈下



水管橋破損 傾斜（呑口側）



可とう管部沈下状況（堤防側）

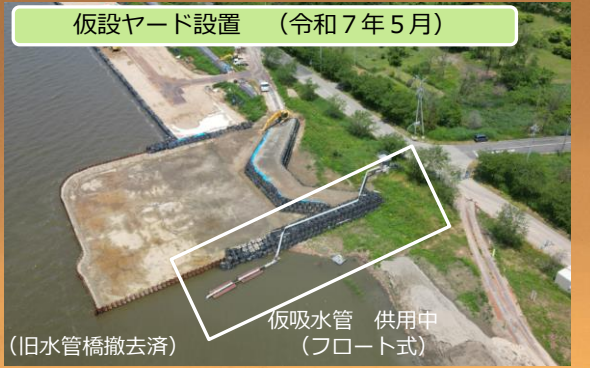
復旧状況



仮取水管設置（令和6年11月）

旧水管橋

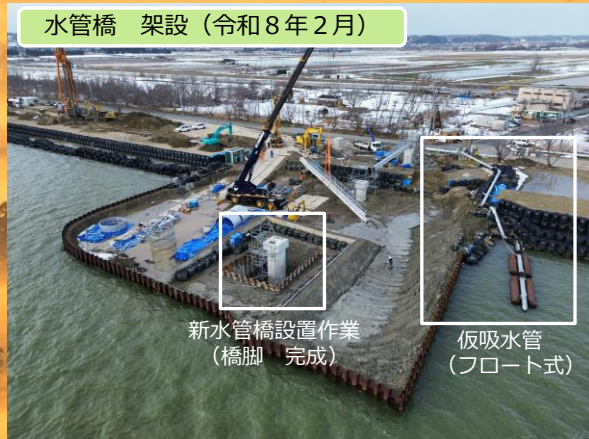
仮取水管
（フロート式）



仮設ヤード設置（令和7年5月）

（旧水管橋撤去済）

仮取水管 供用中
（フロート式）



水管橋 架設（令和8年2月）

新水管橋設置作業
（橋脚 完成）

仮取水管
（フロート式）



新水管橋 完成（通水開始：令和8年2月20日）

新水管橋